

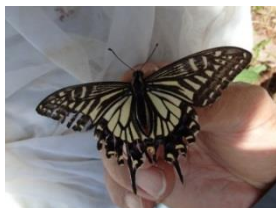


♂ 2014.5.17 e

ウスバアゲハ(ウスバシロチョウ)

アゲハチョウ科 年1化
5月6月 蛹越冬 6cm

🌿ムラサキケマン(⇒①68)
白いけどアゲハの仲間です。

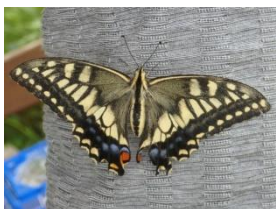


春型♂ 2014.5.22 e

アゲハ

アゲハチョウ科 多化性
4~9月 蛹越冬 7~10cm

🌿サンショウ(⇒①138)などミカン科
★b 森より人里で多く出会う。



2016.8.2 e

キアゲハ

アゲハチョウ科 多化性
4~9月 蛹越冬 7~10cm

🌿ニンジンなどセリ科
★b 家庭菜園のニンジンの葉っぱでも幼虫君が見つかるぞ。



2014.8.13 e

オナガアゲハ

アゲハチョウ科 年2化
5月・8月 蛹越冬 7~10cm

🌿コクサギ(⇒①137)などミカン科
後翅が他のアゲハ類より細長く、尾状突起も太い。



♀ 2011.8.27 e

ミヤマカラスアゲハ

アゲハチョウ科 年2化
5月・8月 蛹越冬 7~10cm

🌿キハダ(⇒102)
★b 春型の後翅の金緑色帯がとてもきれい。



♂ 2014.5.19 e

草ずり斑紋

ツマキチョウ

シロチョウ科 年1化
4月5月 蛹越冬 3.5cm

🌿ハタザオなどアブラナ科の花・サヤ
★b 春一番、翅裏の草ずり斑紋もよく見てね

チョウの仲間



手前 2014.7.6 e

スジボソヤマキチョウ

シロチョウ科 年1化
6月7月 夏眠 9月 成虫越冬 4月5月
7cm

🌿 クロウメドキ



2016.8.2 e

キタキチョウ

シロチョウ科 多化性
4月~10月 成虫越冬 3.5cm

🌿 ヤマハギ(⇒95)など



♀ 2015.6.22 e

モンキチョウ

シロチョウ科 多化性 幼虫越冬
4月~10月 幼虫越冬 5cm

🌿 シロツメクサ(⇒78)などマメ科

★e 頂上広場にミヤコグサが
咲くころ沢山飛び交う。



2014.7.12 e

スジグロシロチョウの仲間

シロチョウ科 多化性 蛹越冬
4月~10月 幼虫越冬 4~6cm

🌿 アブラナ科

★b 山の中で「モンシロチョウ？」と思ったら本種のことが多い。



2016.9.14 e

ゴイシジミ

シジミチョウ科 多化
5月~10月 幼虫越冬 3cm

🌿 ササコナフキツンアブラムシ
(蝶の中では数少ない肉食)

★b 名前は囲碁の
碁石からと言われて
いるが、白石はどこ？



2014.7.12 e

ウラゴマダラシジミ

シジミチョウ科 年1化
6月~7月 卵越冬 3.5cm

🌿 イボタノキ(⇒80)など
同じミドリシジミ類に
属するミドリシジミは
早朝・夕方活動するため
出会いが少ない。

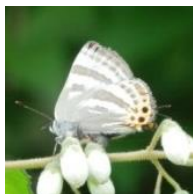


2013.9.29 it

アカシジミ

シジミチョウ科 年1化
6月7月 卵越冬 3.5cm

🌿 コナラ(⇒①121)など
★e もうボロボロ。
ご苦労様。

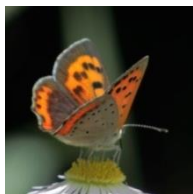


2012.6.13 e

トラフシジミ ※

シジミチョウ科 年2化
5月・7月 蛹越冬 3cm

マメ科などの花・サヤ
※図鑑には寒冷地では年1化となっているが、当地での回数は確認していない。



2016.7.1 e

ベニシジミ

シジミチョウ科 多化性
4月～10月 幼虫越冬
2.5cm

ギシギシなど
★b 春から秋まで普通に見られ、小さいが赤くきれいだ。

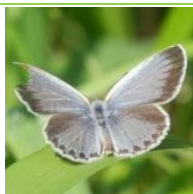


♂ 2015.4.21 e

スギタニルリシジミ

シジミチョウ科 年1化
5月 蛹越冬 2.5cm

ミズキ(⇒①79)などの花・蕾
★b 春の観察会の常連。吸水中の♂をよく見かける。



♂夏型 2013.8.16 e

ヤマトシジミ

シジミチョウ科 多化性
5月～10月 幼虫越冬
2cm

カタバミ
★b 街中에서도カタバミが生えていれば見られる可能性大。幼虫を探してみよう。



♂ 翅裏 2013.10.5 e



翅裏 2013.8.20 e



♂ 2014.5.22 e

ツバメシジミ

シジミチョウ科 多化性
4月～10月 幼虫越冬
2cm

シロツメクサ(⇒78)など
★b ツバメのような尾っぽが分かるかな。



2008.8.31 e

キベリタテハ

タテハチョウ科 年1化
8～9月 成虫越冬 4月 6.5cm

シラカバ(⇒①124)など
高原の代表タテハ。
翅の縁取りが黄色なのが名前の由来。

チョウの仲間



2011.4.13 e

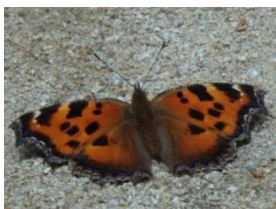
ルリタテハ

タテハチョウ科 年2~3化
6月~10月 成虫越冬 3~4月 6cm



翅裏 2014.7.12 e

ヤマガシユウ(⇒80)など
早春から晩秋までみられる。
卵⇒52、幼虫⇒50



羽化直後 2014.6.30 e

ヒオドシチョウ

タテハチョウ科 年1化
6月~7月 成虫越冬 3~4月 6cm



翅裏 2013.10.22 e

エゾエノキ(⇒99)など
★b 裏の斑紋が枯れ葉・枯れ枝
色で保護色か？



越冬後の成虫 2014.4.12 e

エルタテハ

タテハチョウ科 年1化
7月~8月 成虫越冬 4月 6cm
さなぎ⇒51



翅裏 2014.4.12 e

シラカバ(⇒①124)など
L字白紋とシータテハのC字白
紋の区別は慣れないと難しい。



翅裏 2014.7.12 e

シータテハ

タテハチョウ科 年1~2化
7月・9月 成虫越冬 3~4月 5.5cm

ハルニレ(⇒99)など
★b タテハの特徴(前脚が
矮小化^{わいしょうか}※)、4本脚に見えるね。
※矮小化とは小さくなること。



2014.7.6 e

クジャクチョウ

タテハチョウ科 年1~2化
7月~9月 成虫越冬 3~4月 5.5cm

🌿カラハナソウ(⇒88)など

★b クジャクの羽のようだね。



越冬後の成虫 2014.4.9 e

キタテハ

タテハチョウ科 年2~3化
6~10月 成虫越冬 3~4月 5.5cm

🌿カナムグラ(⇒①106)

★b 幼虫・さなぎは葉を糸で綴った隠れ家で見つかるぞ。



♂ 2016.6.21 e

クモガタヒョウモン

タテハチョウ科 年1化
6月 夏眠 9月・幼虫越冬 6.5cm



★e 翅裏の斑紋が雲形というが？

♂ 翅裏 2013.6.16 og

🌿スミレ類

ヒョウモン類で一番先に現れる。



翅表 上♀ 下♂ 2013.6.18 mt

メスグロヒョウモン

タテハチョウ科 年1化
6~7月 夏眠 9月・幼虫越冬 6.5cm

🌿スミレ類

★b ♂ ♀まるで別種に見えるね。



♂ 2014.7.6 e

ミドリヒョウモン

タテハチョウ科 年1化
6~7月 夏眠 9月・幼虫越冬 6.5cm

🌿スミレ類



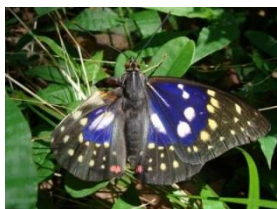
♂ 翅裏 2013.6.16 og

ウラギンヒョウモン

タテハチョウ科 年1化
6~7月 夏眠 9月・幼虫越冬
6.5 cm

スミレ類

★b 大型ヒョウモン類の翅表はよく似ていて、翅裏で判別するほうが容易。



左前翅が欠損 2011.7.12 e

オオムラサキ

タテハチョウ科 年1化
7月 幼虫越冬 9cm

エゾエノキ(⇒99)など

オオムラサキの観察⇒44

★e この写真の飛べない個体の発見が、我々がオオムラサキの存在に気付くきっかけになりました。

卵⇒52、幼虫⇒50、さなぎ⇒51



♂ 2014.8.13 e

コムラサキ

タテハチョウ科 年1~2化
6月~9月 幼虫越冬 6.5cm



翅裏 2016.7.29 e

ヤナギ類

年1化の地域は7月といわれているが、この地域が年1化かどうかは確認していない。



2012.8.15 e

イチモンジチョウ

タテハチョウ科 年2化
6月・8月 幼虫越冬 5.5cm



2011.7.5 e

スイカズラ(⇒①106)

幼虫⇒50、さなぎ⇒51



2011.8.17 e

ゴマダラチョウ

タテハチョウ科 年2化
6月・8月・幼虫越冬 6.5cm

🌿 エゾエノキ(⇒99)など

★b 市民の森ではオオムラサキよりも出会いは少ない。



2016.7.29 e

スミナガシ

タテハチョウ科 年2化
5月・8月・蛹越冬 6cm

🌿 アワブキ(⇒①130)など

★b 終齢幼虫の悪魔顔は必見。

スミナガシの観察⇒47

卵⇒52、幼虫⇒50、さなぎ⇒51



翅裏 2013.6.16 og

ミスジチョウ

タテハチョウ科 年1化
7月・幼虫越冬 6cm

🌿 カエデ類



2014.5.22 e

コムスジ

タテハチョウ科 多化性
5月～8月・幼虫越冬 5cm

🌿 マメ科



翅裏 2016.6.14 b

ヒメウラナミジャノメ

ジャノメチョウ科 多化性
5月～9月・幼虫越冬 3.5cm

🌿 イネ科



翅裏 2016.5.28 e

コジャノメ

ジャノメチョウ科 年2化
5～6月・8月・幼虫越冬 4cm

🌿 チヂミザサ(⇒96)など

チヨウの仲間



オオヒカゲ

ジャノメチョウ科 年1化
7月・幼虫越冬 6.5cm

🌿 テクリスゲなど
ジャノメチョウの中では大型。

翅裏 2016.7.19 b



♀ 翅裏 2014.8.13 e
クロヒカゲ

ジャノメチョウ科 多化性
5月～9月・幼虫越冬 5cm



♀ 翅裏 2016.9.14 e

🌿 ササ類など
★b 上の写真の個体の特徴は
クロヒカゲだが、こんな色は見
たことがない。



2011.7.27 e

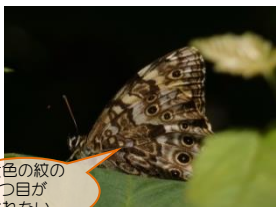
ジャノメチョウ

ジャノメチョウ科 年1化
7月・幼虫越冬 6cm



♀ 翅裏 2016.7.29 e

🌿 ススキなど
高原から里山の草原まで広く
分布している。



黄色の紋の
3つ目が
離れない。

2016.6.14 e

サトキマダラヒカゲ

ジャノメチョウ科 年2化
5月・8月・幼虫、蛹越冬 5.5cm

🌿 ササ類など



黄色の紋の
3つ目が少し
離れる。

2013.5.21 yn

ヤマキマダラヒカゲ

ジャノメチョウ科 年2化
5月・8月・幼虫、蛹越冬 5.5cm

🌿 ササ類など



2012.5.26 e

アサギマダラ

マダラチョウ科 多化性
5月・7月～9月 9.5cm

🌿 イケマ(⇒①93)など
渡り(わた)りすることで有名。
アサギマダラの観察は⇒46
卵⇒52、幼虫⇒50、さなぎ⇒51



♀ 翅裏 2014.9.14 e

★b 5月ころ南方より飛来、当地で育った子供は7月ころ羽化、その後の足取りは不明、秋に南方へ旅立つらしい。
フワフワ優雅(ゆうが)に滑空(かっくう)する。この飛び方が遠方まで飛べる秘訣(ひけつ)か。



越冬後の成虫 2016.4.9 e

テングチョウ

テングチョウ科 年1化
6月～7月 成虫越冬 3～4月 4cm

さなぎ⇒51



2016.4.9 e

🌿 エゾエノキ(⇒99)など
★b つき出た鼻(?)が自慢(じまん)。
翅裏(うしうら)はやはり越冬時のための保護色(ほごしき)かな？



2011.6.24 e

ダイミョウセセリ

セセリチョウ科 年2化
5月～6月・8月・幼虫越冬 3cm

🌿 ヤマノイモなど



2013.5.12 e

ミヤマセセリ

セセリチョウ科 年1化
4月～5月・幼虫越冬 3cm

🌿 コナラ(⇒①136)

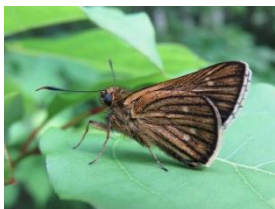
チョウの仲間



♂ 翅表 2016.6.14 b

コチャバナセセリ

セセリチョウ科 年1化
3cm



♂ 翅裏 2016.6.14 b

🌿 ササ類

★b 葉に止まったセセリの仲間はコンコルドジェット。

幼虫⇒50



2014.9.14 e

イチモンジセセリ

セセリチョウ科 多化性
5月~10月・幼虫越冬 3cm

🌿 イネ科



2014.8.13 e

スジグロチャバナセセリ

セセリチョウ科 年1化
7月・幼虫越冬 3cm

🌿 カモジグサなど



♂ 翅表 2016.6.14 b

ヒメキマダラセセリ

セセリチョウ科 年2化
6月・8月・幼虫越冬 3cm



翅裏 2016.6.14 e

🌿 チヂミザサなど

★b 羽化したての個体は黄色い縁の毛がアクセント

淡色の斑紋が帯状になるのはヒメキマダラセセリの特徴。

★b セセリチョウの仲間は止っていると一見「ガ」に見えるが、触角をよく観察すると、先が太いのでチョウの仲間です。